

24 歴史・文化の保護・継承と活用

- 文化財の保護を進めるとともに、教材や観光資源としての活用を図ります。
- 伝統文化の保存・継承に取り組みます。

現状と課題

<文化財等>

- 安芸高田市には、国史跡「毛利氏城跡」をはじめとする歴史的遺産や、「神楽」、「はやし田」等の伝統芸能等、多数の文化財が分布しています。
- 平成 21 年に発見された甲立古墳は、4 世紀後半のものとしては県内最大級の前方後円墳で、文化的価値の極めて高い遺跡として、今後の保存活用を図るために国史跡への指定が求められています。
- 安芸高田市には歴史民俗博物館や神楽資料館等、特色ある展示施設が立地していますが、利用者増加に向け、展示の充実等が求められています。

<継承>

- 市内には、神楽、はやし田をはじめ、様々な伝統芸能保存団体が存在し、地域の伝統文化を貴重な財産として、誇りをもって保存し、次世代に継承しています。
- 神楽については、地元の神楽団によって保存伝承活動が行われており、「神楽門前湯治村」の神楽専用舞台を備えた神楽ドームでは、これら神楽団が定期公演を行い、各地から多くの集客を得ています。
- また、「安芸のはやし田」として国指定を受けている原田はやし田をはじめ、市内各地のはやし田は、年に一度の公開日に市内外から多くの集客を得ています。
- 市内の多くの伝統芸能保存団体では、一様に後継者の確保と育成に不安と課題を抱えており、若年世代の地域文化に対する意識の改革と後継者の確保が求められています。

目標指標

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
歴史民俗博物館 入館者数 (年計)	8,802 人/年	➡ 10,000 人/年
文化財の保護と活用に対する満足度 (4 点満点)	2.51	➡ 3.0



具体的施策（公助）

施策98 文化財の保存管理

- 市民が郷土の歴史、伝統文化等の価値を理解し、地域の宝として誇りを感じ、貴重な文化財として永く後世に引き継いでいくため、文化財の保護に努めます。
- 指定文化財は、文化財所有者・管理者との連携を図り、適切な保存管理に努めます。
- 調査等により発見された貴重な文化財については、指定を進め保存に努めます。
- 毛利氏城跡や関係遺跡をはじめ、古墳や山城の多い安芸高田市であるため、開発事業等による埋蔵文化財の調査を含め、適切な遺跡の保存を図ることができるよう努めます。
- 出土文化財や民俗資料等の歴史資料は、積極的に収集し適切な保存管理に努めます。

施策99 伝統文化の継承

- 安芸高田市に数多く存在する伝統文化を将来にわたって保存・継承していくために、その活動及び育成の支援に努めます。

施策100 文化財の活用

- 歴史民俗博物館の適切な維持管理・運営に努めるとともに、市内外への情報発信及び入館者の拡大に努めます。
- 郷土の歴史・文化を市民が理解し郷土愛の精神が育まれるよう、歴史民俗博物館を有効的に活用し、企画展等において文化財等の公開展示を積極的に行います。また、市内外への情報発信を積極的に行います。

施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 市民・地域は、地域文化に関心を持ち、その保存、継承に努めましょう。

25 トップスポーツの振興

- トップアスリートとの交流機会の充実を図ります。
- 次代のトップアスリートの輩出を支援します。

現状と課題

<トップスポーツ>

- 安芸高田市は、プロサッカーチーム「サンフレッチェ広島」のマザータウン*として、湧永製薬株式会社ハンドボール部「ワクナガレオリック」のホームタウン*として、練習拠点を有しています。
- これまでも、サンフレッチェ広島安芸高田市スponsoredゲーム*の開催や、サンフレッチェ広島及びワクナガレオリックの応援観戦事業を実施してきたほか、市内小中学校において、サッカーやハンドボール教室を開催する等、身近にあるトップアスリートとのつながりを深めてきました。↑
- 土師ダム周辺には、国際大会が可能なカヌーやBMX*の競技場があり、国体選手や、国際試合に出場するトップアスリートを輩出してきました。
- サッカーやハンドボールの応援観戦や、トップアスリートによる子供たちへの指導等を通じて、子供たちがスポーツに目覚め、次代のトップアスリートの輩出につながっていくことが求められています。

目標指標

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
全国大会壮行者数 (年計)	78 人/年	➡ 90 人/年



具体的施策（公助）

施策101 トップスポーツの活用

- サンフレッチェ広島のマザータウン、ワクナガレオリックのホームタウンとしての特徴を活かし、応援観戦事業をはじめ、様々な交流事業の充実を促進します。
- トップスポーツの選手や指導者によるスポーツ教室や、トップアスリートとの交流イベント等により、自分の夢の実現に向けてがんばる子供たちのスポーツ活動の支援に努めます。

施策102 トップアスリートの育成

- 体育協会、スポーツ少年団、地域総合型スポーツクラブとの連携を図り、アスリートの競技力の向上、競技人口の拡大に努めます。
- 国民体育大会をはじめ、全国大会、国際大会へ出場する選手の支援に努めます。
- 子供たちへ、様々なスポーツ教室やスポーツ体験の機会を提供し、スポーツに親しむ子供の拡大に努めます。
- スポーツ推進委員をはじめ、地域のスポーツリーダーの資質向上に努めます。

施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 市民・地域は子供たちにトップアスリートとの交流機会等への参加を呼びかけましょう。
- ▶ 国体をはじめ、全国大会や国際大会に出場する市民選手を応援しましょう。

●サンフレッチェ広島 安芸高田市
スポンサードゲーム



●ワクナガレオリック



26 観光・交流の振興

- 地域資源を活かした観光商品・プログラム等の開発を推進します。
- ガイドや宿泊機能、サービス等の観光客受け入れ機能を強化します。
- 海外を含む姉妹都市等との交流を促進します。

現状と課題

<観光>

- 近年、その地域でしか味わえない本物の体験、人と人との交流等に価値を見出す体験型観光へのニーズが強まっており、地域資源を最大限に活かした観光振興が求められています。
- 安芸高田市にも、歴史や風土に根付いた特色ある資源が数多く存在しており、特に神楽については、定期公演、高校生の神楽甲子園、東京公演等、様々な形で活用が図られています。
- 平成 25 年度の年間観光入込客数は約 83 万人で、平成 21 年の未来創造事業*の開始以降、増加傾向にあるものの、一人あたり観光消費額は 1,162 円と低迷しています。
- 多様な地域資源を活用した観光資源・観光施設の魅力向上、観光資源相互の連携強化、観光推進体制の充実に取り組むことで、地域経済の活性化に寄与していくことが求められています。

<交流>

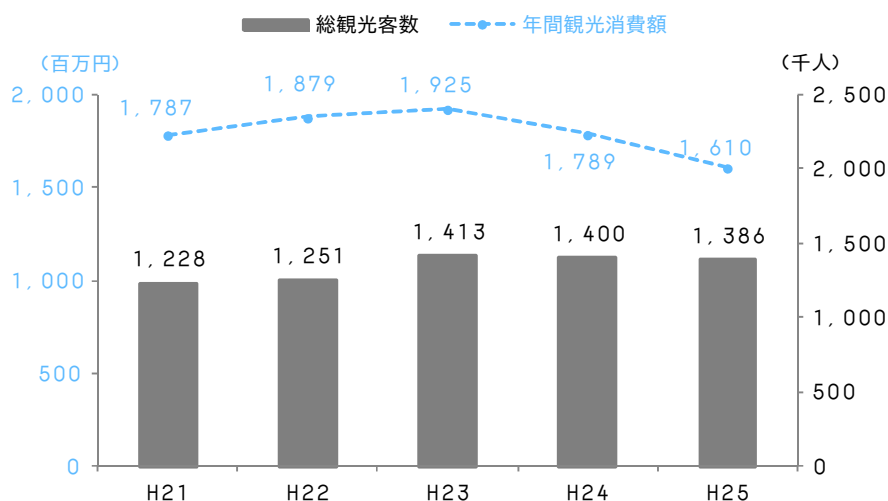
- 安芸高田市には、エコミュージアム川根、土師ダムサイクリングターミナル、神楽門前湯治村、たかみや湯の森、吉田サッカー公園、向原農村交流館やすらぎ等、地域資源をテーマとした様々な交流拠点施設が整備されています。
- これら施設の活用をさらに推進するため、広島広域都市圏協議会とともに広域連携による交流ネットワークの形成に取り組んできました。
- また、姉妹都市である山口県防府市、ニュージーランド・セルウィン町との交流等に取り組んできました。
- 今後も多くの地域と繋がり、新たな出会いの創出を積極的に促すことで、安芸高田市の活性化を図っていくことが求められています。



目標指標

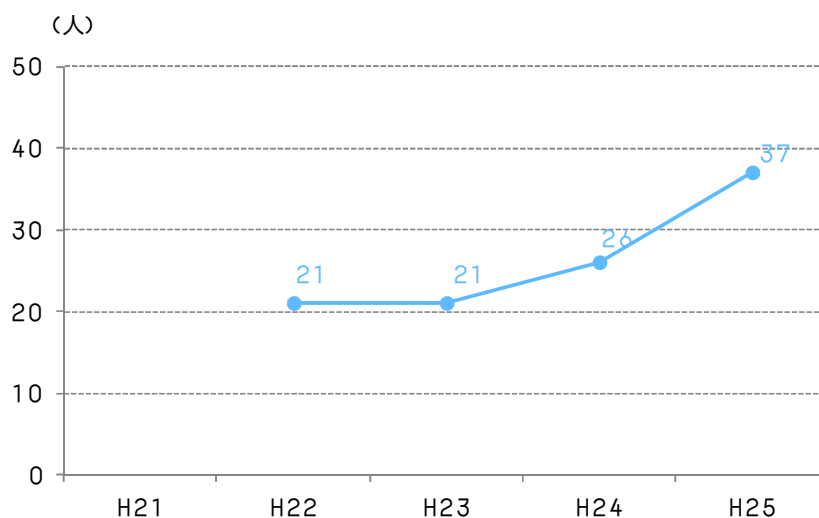
目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
総観光客数 (年計)	1,386 千人/年	➡ 1,700 千人/年
観光消費額 (年計)	1,610 百万円/年	➡ 2,300 百万円/年
神楽定期公演集客数 (年計)	32,275 人/年	➡ 37,000 人/年

●総観光客数及び年間観光消費額の推移



出典：広島県観光客数の動向

●海外派遣事業に参加した中学生生徒数の推移



※H21 は新型インフルエンザの大流行により事業中止

出典：安芸高田市 教育委員会 調べ

具体的施策（公助）

施策103 観光資源の開発と活用の推進

- 安芸高田市の歴史的・文化的資源、農林水産資源、自然資源等を活用し、観光特産品や観光商品の開発に取り組みます。
- 既存の観光施設について、設備更新並びに施設修繕を計画的に実施します。

施策104 観光の推進体制の充実

- 観光協会等の関連団体の育成を推進するとともに、ガイドを養成します。
- 観光客を暖かく迎えるよう、観光関係業者等の接客サービスの向上や住民によるおもてなしの心の醸成を推進します。
- 地域資源を活かし、観光客等により長く滞在してもらうための環境整備を進めます。
- インターネットやマスメディアを活用した積極的な情報発信のほか、道の駅等の観光関連施設においてパンフレットやポスターを活用した情報発信に努めます。
- 周辺自治体と連携した観光キャンペーンの実施等、広域的なPR展開を行います。
- 地元高校や地域・団体等と連携したイベント等を通して、若い力を活用した観光推進体制を構築します。

施策105 交流機会の充実

- 安芸高田市の姉妹都市である山口県防府市やニュージーランド・セルウィン町、安芸高田市の中学校と姉妹校提携を結んでいるダーフィールドハイスクール（ニュージーランド）やメイフラワーセカンダリースクール（シンガポール）との相互派遣交流を行い、市民や生徒の国際感覚とコミュニケーション力の向上を図ります。
- 市民の国際交流組織である安芸高田市国際交流協会については、多文化共生社会*への推進組織として活動できるよう支援し、育成を図ります。



施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 市民や地域、事業者は、地域資源への理解を深めるとともに、おもてなしの心で観光客を迎えましょう。
- ▶ 地域や事業者は、地域資源を活かした商品開発や観光プログラムを検討するとともに、実践しましょう。
- ▶ 市民や地域、事業者は、SNS*等を活用して積極的に情報発信を行いましょう。

●神楽「八岐大蛇」



●郡山公園の紅葉

